

2022年5月20日

三田史学会会員各位

三田史学会会長  
杉本 智俊

## 2022年度三田史学会大会について

下記のとおり、2022年度三田史学会大会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

1. 期 日 2022年6月25日(土)
2. 会 場 慶應義塾大学三田キャンパス(〒108-8345 東京都港区三田2-15-45)
3. 行 事 下記の大会プログラムのとおり
4. 参加方法 午前・午後の部ともに会員・非会員を問わずどなたでも自由に参加できます。
5. 懇親会 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度は中止といたします。

## 2022年度三田史学会大会プログラム

### 午前の部 研究発表

#### 日本史部会(10:00～) 西校舎 524 番教室

1. 古代在地社会における貧窮者救済  
早稲田大学大学院文学研究科後期博士課程 森田 大貴
2. 田沼期印旛沼干拓における周辺地域の展開から見る事業目的  
東洋英和女学院中学部高等部 宗重 博之
3. 教育史料にみる円への統合過程  
慶應義塾大学非常勤講師 藤田 典子
4. 在来産業の製品ポートフォリオ拡張と低級品市場  
: 1890-1910年代醬油醸造家・高梨家の地方売り手印類似品  
慶應義塾大学文学部 前田 廉孝

#### 東洋史部会(10:00～) 西校舎 527 番教室

1. 近代長崎におけるアジア主義の展開と韓国併合 — 鈴木天眼の言論活動を中心に  
東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程 岡部 柊太
2. 17世紀初頭オスマン帝国におけるデルヤ・ベイ船団: 『枢機勅令簿』にみる船団の編成と派遣  
慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程 相磯 尚子
3. 間島省臨時政府の役割とその意義  
一橋大学大学院社会学研究科後期博士課程 尹 国花
4. 近代アラブ地域における雑誌と読者 — 『ムクタフ』の質問投稿欄の分析から  
慶應義塾大学文学部 勝沼 聡

## 西洋史部会 (10:00～) 西校舎 513 番教室

1. 古代エジプト末期王朝時代におけるセト神迫害の儀式 —Urk. VIの分析  
広島大学人間社会科学研究科博士課程後期 宮本 彩芽
2. ヘンリー7 世期の国王評議会 —行政への国王評議会員の影響  
同志社大学大学院文学研究科後期博士課程 加藤 大貴
3. 18 世紀後半ポルトガルにおける特権会社とワイン産業  
—「アルト・ドーロ葡萄栽培会社」と「違反調査」(1771-1775 年) の分析から  
慶應義塾女子高等学校非常勤講師 倉根 彩乃

## 民族学考古学部会 (10:00～) 西校舎 516 番教室

1. 消費地出土資料からみる紅専用器の流通 —江戸・東京一帯を対象に  
慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程 岩浪 雛子
2. 江戸市中女性人骨の耳状面前溝 —埋葬年代・埋葬形態別の比較を中心に  
慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程 中村 謙伸
3. 初期ビザンツ期パレスチナにおける教会堂・修道院の建築変遷  
東京文化財研究所研究補佐員 藤澤 綾乃
4. 初期鉄器時代のテル・レヘシュと下ガリラヤ地方  
東京文化財研究所客員研究員 間舎 裕生

## 午後の部 (13:30～16:20) 西校舎 517 番教室

シンポジウム

### 自然災害と求められる文化財保護のあり方

—特に大学組織の関与について—

趣旨説明 13:30-13:40

慶應義塾大学文学部 教授

渡辺 丈彦

基調講演 13:40-15:20

#### 1. イタリアの文化財レスキューと保存修復

—1966 年フィレンツェ大洪水から考える「予防的修復」の意義と応用

東海大学 教養学部 / 情報技術センター 准教授、修復家

田口 かおり

#### 2. 日本における文化財防災の制度・枠組の成立と展開

—東日本大震災への対応のおはなしを中心に

国立文化財機構東京文化財研究所保存科学研究センター センター長、

同機構文化財防災センター 副センター長

建石 徹

#### 3. ふくしまの現場から振り返る 11 年 —できたこと、できなかったこと

福島大学行政政策学類 教授、ふくしま歴史資料保存ネットワーク代表

阿部 浩一

パネルディスカッション 15:30-16:20

## 三田史学会総会 (16:30～17:00) 西校舎 517 番教室